

8	7	6	5	4	3	2	1		
									さし絵
六 えつちゃんがあそびに行く場めん	五 えつちゃんが大男に立ち向かう場めん		四 えつちゃんが牛と出会う場めん		三 えつちゃんがきつねと出会う場めん	二 ぼうしが風にさらわれる場めん	一 えつちゃんがお母さんからぼうしをもらう場めん		場めんのだい名

○お話のじゅんじょ

めあて

人物じなぶつのようすや気持ちに気をつけて読もう
「名前を見てちょうだい」 あまん きみこ作

めあて

お話をじゅんばんどおりにならべよう。

【3 / 15 時間目 指導略案】 使用するワークシート③

活動のねらい

挿絵を手がかりに場面分けをし、物語の大まかなあらすじをとらえることができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

○ 拡大した八枚の挿絵を見せ、場面の順番に合うように並べ替えることに意欲をもたせる。

2 挿絵を手掛かりに場面を分ける。

【発問】挿絵はどのような順番に並べればよいか。

○ 八枚の挿絵はカード形式にして全員にもたせ、場面の順番通りになるように、ワークシート上で操作させる。板書でも挿絵の並べ替えを行い、教科書で確認しながら、全員が正しい順に並べることができるようにする。

※ 挿絵並べ替え用のワークシートをB4またはA3サイズに拡大して使用せるとよいでしょう。

3 各場面に題名を付ける。

○ 並べ替えた挿絵を基に、本文を大きく六場面に分けることを提案する。

○ 「だれ（何）が」「どうした」場面かを教科書の本文を手掛かりにして、場面の題名を考えさせる。

※ 一の場面の題名を全員で一緒に考えて書くと、児童は、各場面の題名が付け易くなります。

評価 出来事の場面や様子を意識して、場面ごとに題名を付けようとしている。

(イ1)

4 本時を振り返り、次時の学習内容を知る。

○ ワークシートで自己評価をさせる。

○ 次時は、一、二の場面を学習することを知らせる。